

県内 投票率影響懸念も

2024
とちぎ知事選

17日投票の知事選で、県内の投票所数は792カ所となり、2020年の前回知事選から38カ所減ることが6日、県選挙管理委員会への取材で分かった。投票所数は過去10年間で、17市町で計108カ所減少した形になる。背景には人口減少や職員配置の負担、有権者が担う立会人確保の難しさなどがある。投票機会の確保のため、各市町は移動支援などに取り組んでいる。

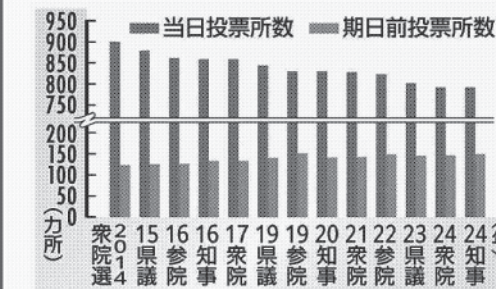
が、投票率への影響を懸念する声もある。

県選管によると、県内の投票所数は14年の衆院選では900カ所だった。10年間の減少数は栃木市が最多の22カ所減で現在は64カ所。那須烏山市は16カ所減で12カ所、市貝町は8カ所減の6カ所となっている。

佐野市は23年の県議選から、73カ所あった投票所を55カ所に再編した。人口減と職員配置の負担が理由で、地域の有権者が100人未満の投票所を解消した。市は閉鎖した投票所から新たな投票所まで、ワゴン車で移動支援を行っているが、利用者は少ないという。住民からは自宅近くでの送迎を求める声もある。

市選管の担当者は「山間部では旧投票所すら行けない住民もあり、移動支援の効果が出ていない」と漏らす。22年の参院選から大型商業施設に期日前投票所を設けてはいるが、「投票機が増えただけで投票率を上げる起爆剤にはなっていない」と頭を抱える。

一方、市貝町は19年の参院選から14カ所あった投票所を6カ所とした。町選管は「期日前投票が浸透し、削減後も投票率に直接の影響はない」とする。10年間で7カ所減り70カ所となった日光市は車両を使った移動期日前投票所を導入し、投票機会の確保を図る。



県選管は「できるだけ有権者宅近くに投票所があるのが望ましいが、市町選管の判断で減少しているのはやむを得ない」とする。

一方、小山、さくら、益子など8市町は投票所数を減らしていない。宇都宮市選管は「投票に行きづらくなる人も出てくる。投票する権利を保障するため」と説明。大田原市は東日本大震災による被災で投票所数が減り現在40カ所。担当者は「地域の協力で何とかやりくりし、投票所数を維持できている」と話した。

(宇留野有貴、伊藤慧)

投票所 10年で108カ所減



235

小学校高学年
（中学生向け）
年組

2024年11月7日付・下野新聞1面

【2】投票所が減った理由を次のようにまとめました。（ ）に正しい語を記事から見つけましょう。

- ①（ ）減少
②（ ）の負担
③（ ）確保の難しさ

【3】投票機会を確保するための取り組みも進んでいます。記事の内容を次のようにまとめました。（ ）に当てはまる語句を下から選び記号で答えましょう。

取り組み	具体的な内容
有権者の送迎	①（ ）
投票の機会を増やす取り組み	②（ ） ③（ ）

- ア 車両を使った移動期日前投票所
イ ワゴン車での移動支援
ウ 大型商業施設に期日前投票所の設置

【4】選挙の投票所や投票率については、選挙管理委員会のホームページで調べられます。国や県や市町の選挙の様子を調べてみましょう。

【5】18歳から投票ができます。みなさんが投票しやすい方法を家族や友達と話し合ってみましょう。

設 問

【1】「県内投票所の増減」のグラフからわかることをまとめました。正しいことをすべて選びましょう。

- ①平成14年から平成24年の10年間のグラフです
②全体的に「当日投票所」は減り、「期日前投票所数」は増えています
③「24知事」の「期日前投票所数」は「当日投票者所数」の約半分です
④「20知事」の「当日投票所数」は850カ所より少なかったです